

3D落語の前に…
嘶く舞台が
目に浮かぶ!

上方落語がもっと面白くなる!? 大阪の歴史と情景と一緒にたどってみませんか? (10月6日㈯開催)

1870年、シリーマンは昔話を頼りにトロイの遺跡を発見しました。
…とえらひいたいそなからうござり、上方落語のお話です。

口伝えは演じるもので、古典落語には古地図や古文書に残っていない情報や人々の生活が記されています。堺筋本町駄からうの事務所に向かう途中に農人橋を渡ります。「膳場ごわい」(上方版)ではこの辺は夜になると人も通らぬ寂しいところ、ここのら東横堀川に飛び込みれば「本町の曲がり」にさしかかる夜になると人も通らぬ寂しいところ、ここのら東横堀川に飛び込みれば「本町の曲がり」になります。(なんのそこのガードに合わせて阪急高速も曲がってるのです!)

そんな「古典落語の事務所見場巡り」をみんなでしてみませんか?と提案したのが「3D落語」です。

第1回は「くぐだ」を取り上げ、笑福亭春森師の熱演を聞いたあと、野獣と呼ばれた空堀近辺から千日の火屋まで、稻おけを担いだつもりでぞろぞろと歩きました。そして来る10月6日の第2回は「高麗の湯」と「天神山」の二席をペテラン桂丈太郎に演じていただきます。会場はもちろん「高麗の湯」、そこから上方落語発祥地の、生國魂神社経由、愛宕神社まで約一時間、楽しい秋のお散歩に是非ともご参加ください。(小鉢説明・当協議会幹事・株式会社社団往来)



会場をたどって…(写真:岸和田市)

演芸一覧西ゆかりの人物伝

vol.3～細川忠興(ほそかわただおき)～

細川忠興といえば、正室 細川ガラシャが有名ですが、父 嶋齋と同じく和歌、能楽などの文化に造じる教養人としても知られています。なかでも茶の湯は「利休七哲」といわれるほどの人名でした。

落語の演目「荒茶」[「荒大門の茶の湯」とも]はこの茶の湯を題にしており、元々は講談「福島正則荒茶の湯」を参考にした転じてあります。あらすじは細川忠興をはじめとする戦国武将7名が登場人物。忠興以外は茶の湯の前の争いではなく、忠興をましめ歌ひ式の正式な茶道に招かれたところから始まります。とりえど何で忠興のましまへおばいばいとの場の上の武将たちがそのまま茶をましまへおばいばいとなるのか、急に持ちわるくなった池田輝政が飲みかけの茶をそのまま中に放してしまいます。さあ、それからはみな飲むフリだけで茶碗をましめ、せっかくの茶会は台無しになるという少しハチャメチャな筋書き。

伝承される演芸の演目には「勸善懲惡」のストーリーが多く、私達は子供の頃から知らず知らずのうちに、物語の善悪を学んでいると思うことがある。あらためて演芸のもつ特徴、意義を再発見する機会。

満場に登場する実在の人の中から開西ゆかりの方を少しづつご紹介してみよう。

この茶会は開ヶ原の合戦の間際、家康の臣下である本多正邦が催したとする話です。開ヶ原といえれば、敵の大将であった石田三成が幼少の頃、吉秀に茶を所望され晝中歩いてきた吉秀の体調に合わせて徐々に茶の温度を変えていったエピソードが有名ですが、ご存じいかぎ

お知らせ

秋から年末までのイベント開催のご案内です。

順次、会員の皆様にご案内させていただきますので、是非、ご参加ください!

| | | |
|-------------|----------------------------|-----------------------------|
| ★ 9月30日(日) | OSAKAキッズダンススマイルフェスティバル2012 | 場所: BODYMAKERコロシアム(大阪府立体育館) |
| ★ 10月 6日(土) | 3Dらくご | 場所: 高津の富亭(高麗宮参集殿) |
| ★ 10月27日(土) | 笑らいふ | 場所: 道頓堀ZAZA |
| ★ 12月 1日(土) | 笑らいふ | 場所: 道頓堀ZAZA |
| ★ 1月16日(水) | 新春例会(難波スイス会合同開催) | 場所: スイスホテル南海大阪 |

関西の上質な演芸文化のために…

上方落語の文化向上、児童・育児活動と一緒にしませんか??

開西演芸協議会は、開西の芸能を継ぎ受け、若い芸人の育成を支援し、演芸の伝承を守る次代へへ承継していくために、開西の良き伝統を引き継いでいきたいと考えています。

公式ウェブサイトにごくよく見てください。<http://www.walive.org>

笑育

「よみ・かき・そろぼん・ボケ・ツコ」

子供たちのコミュニケーション力を育むための「笑育」を体験できる

ワークショップや講習会

子供たちのコミュニケーション力を育むための「笑育」を体験できる

ワークショップや講習会

段階別下位小会の開催実績

主催:NPO法人関西演芸推進協議会

実行:和泉市芸術文化会館

後援:和泉市立図書館

協賛:和泉市立図書館

Report

第1回関西演芸しゃべり大賞「優勝決定戦」

主催:NPO法人 関西演芸審査議会

後援:(株)小学館業界社プロダクション サテライト大阪 源理整骨院

2012年6月16日(日)
於)大丸心斎橋劇場
14:00~16:00

第1回グランプリ受賞への13組のデッドヒート



グランプリを受賞して目録を貰うボルトボルズ

大会結果 グランプリ ボルトボルズ

準グランプリ アルミカン
準グランプリ プリンセス金魚

BOROさんのステージ&立原啓裕さんとの即興ライブ 華ある間で会場は賛沢にリラックス♪

13組の熱戦を経、審査の間、スペシャルゲストにお迎えたBOROさんのミニライブとサプライズゲストで盛り込んだ立原啓裕さんとの即興ライブをお楽しみ頂きました。BOROさんの色々な色っぽいライブにシンクロしたかった後は、立原さんとの軽妙な掛け合いで会場から大笑いの声を受け取ると、新聞記事を題材に歌ってしまうという見所なベテランの芸人技(?)に、しゃべり話芸はまた違った笑いで会場を盛り上げてくださいました。

業界著名人からも激励を受け、 次回への熱い思いは冷めやらず…



絶評を演じた漫才作家・大池先生



準グランプリを受賞したプリンセス金魚(左)とアルミカン(右)



タイムキーパーとしての思い 幹事 真木起美喜さん

ストップウォッチの上の数字と目の前で繰り広がれている話芸を結びつけるお客さまの笑顔。

客席のお客さま、ひとりひとりに笑いを届けようと沢山の面白いやりとりございましたが、会場内を見ると、その落ち点は余りに色々だった。

「ここば」さんは聞こえていたのだろうが、業者の想いが届いていい。

途中、これが私達の求めている目で聴き耳で視る心に残る話芸なんだよ、改めて感じた。

マイク一本から繰り広げていくしゃべり芸。だった3分や4分ではチャレンジが愛だったことでしょう。本当にお疲れさまでした。思ひを受けていたりお褒めの言葉をありがとうございます。本当にありがとうございました。決戦に挑んだ13組全ての芸人さんが達成感を得られたのではないかと思いました。

笑い空間に居た事、感謝します。ありがとうございました。

Report

宮川ファミリーと過ごすスペシャルナイト

2012年7月19日本
於)ハードロックカフェ大阪

被災地への思いと関西の笑いを勇気に…歌とトークの素敵なステージ

毎年恒例になった、会員の皆様との交流の納涼ビーパーティ。今日は、ハードロックカフェ大阪で宮川大助・花子のお二人とのファミリーをゲストにお迎えし、歌とトークを楽しめて頂きました。最近の活動としては、東北の被災地を訪れ、歌やトークで被災者の方とふれあう機会を作っておられるところで、今回のステージでは、被災地の方の希望の声を歌にした「魔法のレモン」を花子さんの披露。また、元吉本新喜劇のマドンナ・中西綱恵さんは、宝塚脱線事故で事故に遭われた元タカラジェンヌの想いを歌にした「私のラブソング」を歌唱してくださいました。そしてお隣さんが登場。花子さんの手話を添えて被災地で「涙があふれて歌えなかっただ」という歌を中心込んで聞かせてくださいました。最後は皆さんと一緒に「愛を歌おう」を明るく軽快なリズムで盛り上げてくださいました。



いつも場を盛り上げてくださる立原啓裕さん



お二人とも歌ってのステージに感激したことありました(*^_^*)



立原啓裕さんがグランプリ次年度への挑戦!?

第1回グランプリ受賞のボルトボルズの漫才も…

メインゲストの宮川ファミリーに加えて、飛び入りで立原啓裕さんがトーク。

昨年はこの会で司会進行と歌で楽しませてくださいましたが、今年は1ヶ月前に行われた「第1回関西演芸しゃべり大賞」の感想などを話され、「来年(第2回)はピントでの大賞に挑みたい!」と宣言されました。若手芸人にとって刺激的な宣言(!?)に会場からは歓喜の大拍手!!こうして盛り上げてくれる心温かくて嬉しい!ベテランの器の大さを感じる一場面でした。

協議会スタッフの手厚いサポートがあつてのイベントでした。

今回のイベントでは、もうお馴染みになった瀬田涼子さんによる司会進行がまた、和やかなムードをもってくださいました。また、開催に当たっての挨拶を中心専務理事が、業の綱めくじりは道頓堀AZAの吉川社長が「大阪縛め」で上方演芸を推進する集まりに、わざわざ駒ヶ谷からお越しいただき、協議会の楽しき集まりとなりました。



吉川さんの「大阪縛め」で皆さんと一緒にパワフル!瀬田涼子さん